

中華麺の歴史を変える

No.01
Letter

ありがとう製麺株式会社 (ISO 22000:2018 認証登録)

次長 渡邊 豊



本社・工場

当社は、1974年に長野市で創業し、2022年にISO 22000を認証取得しました。認証範囲は「生麺・餃子の皮の製造」です。

例えば、ラーメン店様ごとに、スープの味は違います。であれば、当然ラーメン店様の数だけ「麺」の数もあるはずですが。重要な素材である小麦粉は、産地の選択、挽き方等細部まで吟味し徹底した管理体制の中で取り扱いをしております。その上でお客様のご要望に対してベストな形でご希望の「中華麺」をお届けできるよう努力を重ねております。

近年、中華麺最大の添加物である「かんすい」ゼロの生麺を開発しました。しかも従来の中中華麺に引けを取らな

いどころか、はるかに上回るほどの完成度です。更に中華麺のコシを育むための食塩も思いきって省きました。

“オーダーメイドの麺作りを通して、こだわりスープの良きパートナーでありたい” 社員一同その思いで日々、試作、検査、研究、開発に邁進しております。



工場内の作業風景

▶ <https://arigato-seimen.jp/>

子や孫、ひ孫の時代まで自然を残す解体業者

No.02
Letter

アイ・アール株式会社 (ISO 9001:2015、ISO 14001:2015 認証登録)

法務部長 山城 勇太



再生路盤材製造機

当社は沖縄県で解体業及び産業廃棄物収集運搬・中間処理業を営み、2022年にISO 9001及びISO 14001の認証を取得しました。

那覇市小祿に本社を構え、うるま市具志川に産業廃棄物中間処理を行う工場があります。解体工事は公共から民間まで幅広く行っており、解体工事で発生した建築廃材を工場のプラントで異物除去・破碎し、リサイクルした再生路盤材の生産・販売を行っております。本来であれば最終処分場で埋め立てて捨てられるはずの廃材を再利用することで、環境にやさしい循環型社会の実現を推進しています。

また、当社の再生路盤材は沖縄県リサイクル資材評価認定制度(ゆいくる材)の認定を受け、公共工事で積極的に使用する対象に選ばれており品質にも自信があります。

当社は「捨てればゴミ 使えば宝だ リサイクル」をモットーに、いかに捨てられるはずのゴミを資材として生まれ変わらせ、再利用できるかを考え、沖縄の海をはじめとする綺麗な自然を次の世代へと繋いでいくことに尽力してまいります。



工場の従業員のみなさん

▶ <https://ir-corporation.com/>